

○「委員主催で3地区が意見交換」

(京都府宮津市 養老地区連絡会議)(令和元年度第6回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年1月29日(水) 13:00~16:00
- 場 所: 宮津市養老地区集会所
- 出席者: 品川推進委員、小嶋委員、
3地区代表各2人、事務局1人
※委員2人、委員以外7人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 大島…農業法人せんごくが地域の農地の受け手となっており遊休農地はない(常勤3人、水田4ha、ハウス18棟)
- 里波見…農家50戸、農地の条件が悪い 中波見…農家20戸、営農組合が高齢化
奥波見…農家8戸(50年前は28戸)、後継者なし、農家2人が中心

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 田原地区、養老中部地区、波見地区の意見交換会
 - ・3地区は地区ごとにプランを作成しているが、今回、各地区での現状と課題等を情報共有
 - ・波見地区: 中山間事業取組、アンケート実施、集落間連携と集落営農を検討 他
 - ・養老中部地区: 法人せんごく、認定農業者3人。中核農家で農地を守る、法人の今後の経営 他
 - ・田原地区: プランは自治会で検討。営農組合で農地保全 他
- 各地区とも地区連携を検討する余裕がないなかで、皆で農地を守ることを考えていく
引き続き、3地区検討会議を開催することで同意



4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援